



文部科学省  
「職業実践力育成プログラム（BP）」認定

履修証明プログラム 〈令和3年度〉

# あきたサステイナビリティスクール 第1期生募集要項

令和3年1月

秋田大学大学院理工学研究科

## 目 次

1. 趣 旨 .....	1
2. 目 的 .....	1
3. 教育プログラム .....	2
4. 募 集 人 員 .....	3
5. 履 修 資 格 .....	3
6. 受 講 要 件 .....	3
7. 受 講 料 .....	3
8. 申込期間および申込書類提出先 .....	3
9. 申込手続き .....	3
10. 受講許可について .....	4
11. 受講許可の発表 .....	4
12. 受講手続き .....	4
13. 個人情報の取り扱い .....	4
14. そ の 他 .....	4

(添付書類)

○受講申込票・履歴書

○志望理由書

○業務経歴書

**履修証明プログラム <令和3年度>  
あきたサステナビリティスクール  
第1期生募集要項**

【日程表】

項目	期 日
申込受付期間	令和3年2月3日（水）～3月8日（月）
書類選考	令和3年3月中旬
合格発表	令和3年4月16日（金）

（申込が多数の場合、申込受付期間を短縮することがあります。）

## 1. 趣旨

秋田大学では、文部科学省の支援により平成20年度から平成24年度まで、環境・リサイクル産業の振興・拡大及び環境教育等に貢献できる人材の養成を目的に、秋田県と協力して「あきたアーバンマイン開発アカデミー」を開設し、合計75名の「アーバンマイン開発マイスター」を誕生させました。

平成25年度からは秋田県と連携してアカデミーを引き継ぐ形で「履修証明制度(※1)」による「あきたアーバンマイン開発マイスター養成コース」を開講し、秋田県や関係企業のご協力のもと環境・リサイクルに関する基礎理論や応用技術を学べる場を設け、さらに合計33名の「アーバンマイン開発マイスター」が誕生しました。これらのマイスターは、秋田県内の各地で活躍しています。

令和2年度からは「あきたアーバンマイン開発マイスター養成コース」を発展的に改編し、環境・資源リサイクル技術に加えて秋田県に豊富な再生可能エネルギー源の利用技術を学べる「あきたサステナビリティスクール」を開設し、秋田県の持続的な発展に寄与できる人材の育成を行います。

なお、本スクールは大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムとして、文部科学省が定める「職業実践力育成プログラム（Brush up Program for professional 通称BP）」に認定されました。

### ※1 履修証明制度

大学に社会人を積極的に受け入れることにより、大学の社会貢献を一層進めるために設けられた制度です。その特徴は、①大学の学位に比べ、より短期間に修得することが可能であること、②再就職やキャリアアップに役立つ社会人向けの教育プログラムであること、③修了者には学校教育法に基づき履修証明書を交付することなどです。

## 2. 目的

風力や地熱などの再生可能エネルギー源が豊富であり、鉱工業が盛んであった歴史をもつ秋田県において、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に必要な再生可能エネルギー利用と環境・資源リサイクルの基礎理論と応用技術などを修得させることで、秋田県の産業振興・環境教育など地域活性化に寄与できる人材の育成を目指します。

### (1) 身に付けられる知識、技術、技能

- ・再生可能エネルギーに関する基礎理論と利用に関する知識と技術
- ・環境・資源リサイクルに関する基礎理論と応用に関する知識と技術

### (2) 得られる能力

- ・秋田県内における課題を理解し、具体的な解決方法を提案できる能力

### 3. 教育プログラム

(1) 受講期間：8か月

(2) プログラムのカリキュラム構成

- ① 講 義：原則として、オンライン（非同期・オンデマンド）で実施します。（一部ライブ配信する講義があります。）  
受講期間中、約1か月で4～7科目程度インターネット配信される講義を受講し、小テストやレポート等の課題を提出します。本学から離れた場所でも受講者が学びたい時間に講義を受けることができます。  
（受講にはインターネット環境が必要です。6. 受講要件をご確認ください。）
- ② フィールド研修：秋田県内の企業や施設等で実地研修を実施（平日に2回程度実施予定）  
（新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により実施できない可能性があります。）
- ③ 課 題 研 究：受講期間を通して課題探求と調査活動を行い、成果発表を行います。

(3) カリキュラム内容

「新エネルギー利用論Ⅰ・Ⅱ」と「資源リサイクル論」により再生可能エネルギーの基礎理論とその利用技術および、環境・資源リサイクルの基礎理論と応用に関する知識と技術を修得するとともに、県内事業者、自治体関係者等による講義で秋田県における実情を理解します。さらにフィールド研修と課題研究における実地研修とグループ討論により、再生可能エネルギー利用と環境・資源リサイクルに関する秋田県の課題を明らかにします。その過程で秋田県の課題に対して具体的な解決方法を提案できる能力を修得します。

(4) 令和3年度スケジュール

開講式・オリエンテーション※2	令和3年5月22日（土） 秋田大学手形キャンパスにて実施予定
オンライン講義受講開始	令和3年5月22日（土）～
フィールド研修※2	令和3年7月～10月の平日に実施予定
サステナビリティスクール課題研究※3	令和3年7月以降実施予定
課題研究発表会※2	令和3年12月中旬
修了式※2	秋田大学手形キャンパスにて実施予定

※2：新型コロナウイルス感染症の拡大状況により日程や実施方法の変更を行う可能性があります。

※3：受講者と指導教員で日程を調整しながらオンラインで発表会の準備を進めます。

(5) 履修証明書の交付

講義、フィールド研修、課題研究（必修）の中から修了要件※を満たす60時間以上の科目の時間を取得した受講生には修了を認め、履修証明書を交付します。

※受講生の修了を認めるためには、教育プログラムに示されたカリキュラムの中から予め定めた条件を満たす科目の時間数を取得しなければなりません。その最低条件が「修了要件」です。本スクールでは「課題研究（11.5時間）」を含み、「講義」及び「フィールド研修」から取得した科目の総時間数が60時間以上になることが修了要件となります。

(6) 修了後の活躍

本スクール修了後は、秋田県の推進する再生可能エネルギー関連産業、環境・資源リサイクル産業での活動、ビジネス支援、環境教育の支援、関連企業への就職等が期待されます。

#### 4. 募集人員

10名程度

#### 5. 履修資格

大学を卒業した者、または大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したものの。

#### 6. 受講要件

パソコンに関する基本的なスキル（メール、インターネット、Webサービス等を活用するスキル）があり、インターネットに接続したパソコン、タブレット等を利用できる環境を有すること（パソコン、タブレット等は受講者ご自身でご用意ください。）

オンライン講義の受講方法は、受講決定後に連絡します。

#### 7. 受講料

50,000円（本学の学生は無料です。）

※フィールド研修（選択必修科目）に参加する場合は別途参加費（実費相当）をご負担願います。また、行事等の参加にかかる本学までの旅費及び宿泊費等は自己負担とします。

#### 8. 申込期間および申込書類提出先

##### (1) 申込期間

令和3年2月3日（水）～ 3月8日（月）

注) ①直接持参の場合は、土・日・祝日を除き10時から16時30分まで受け付けます。

②郵送の場合は書留郵便とし、封筒の表に「あきたサスティナビリティスクール受講申込書在中」と朱書し、郵便事情を考慮のうえ、**3月8日（月）必着**で送付してください。

③申込が多数の場合、申込期間を短縮することがあります。

##### (2) 申込書類提出先

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

あきたサスティナビリティスクール事務局（秋田大学大学院理工学研究科事務部）

#### 9. 申込手続き

##### (1) 申込書類等

提出書類等	注意事項
受講申込票・履歴書	所定の受講申込票及び履歴書（本要項とじ込み、またはスクールホームページからダウンロード）に、必要事項を記入してください。
志望理由書	所定の用紙（本要項とじ込み、またはスクールホームページからダウンロード）により、受講したいと考えた動機、目的および修了後の希望などを指示に従って1,500字程度で記入してください。
業務経歴書	所定の用紙（本要項とじ込み、またはスクールホームページからダウンロード）により、現在及び過去に携わった仕事について、その内容を記入してください。

受付番号通知書等 返信用封筒	市販の長形3号(長3)封筒に、受信場所(郵便番号、住所、氏名)を明記し、84円分の切手を貼付して提出してください。
そ の 他	日本に国籍を有しない者は、「在留カード」の写し(両面)を提出してください。

## (2) 申込に当たっての留意事項

- ① 申込書類の不備なものは受理しませんので、記載事項に記入漏れ、誤記のないよう十分注意してください。
- ② 受理した申込書類は選抜に関わる目的以外には使用しませんが、いかなる理由があっても返還しません。
- ③ 申込後、受講申込票に記載の「受信場所」に変更があった場合は、速やかに連絡してください。
- ④ 事務局で受付した後、「受付番号通知書」を返信用封筒にて郵送します。

## 10. 受講許可について

受講の許可は、受講志願者が提出した書類による審査を運営・評価委員会が行い、その結果に基づいて専攻長・学科長等会議で判定し、理工学研究科長が許可をします。

## 11. 受講許可の発表

受講を許可された者には、令和3年4月16日(金)15時に、本スクールホームページに掲載するとともに、「受講許可通知書」を送付します。

なお、電話による許可・不許可の問い合わせには応じかねます。

※コースホームページ → <https://www.sustainability.riko.akita-u.ac.jp/>

## 12. 受講手続き

受講手続きの詳細については、「受講許可通知書」に同封します。

## 13. 個人情報の取り扱い

申込書類等に記載された個人情報は適切に管理し、受講生選考、受講手続き及び入学後の学籍・成績管理等、スクールの運営に必要な事項以外には使用しません。

## 14. その他

ご不明の点があれば以下の事務局あてに願います。

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

あきたサステナビリティスクール事務局 (秋田大学大学院理工学研究科事務部)

TEL: 018-889-2451 FAX: 018-889-2300

E-mail: [sustainability@jimu.akita-u.ac.jp](mailto:sustainability@jimu.akita-u.ac.jp)

URL: <https://www.sustainability.riko.akita-u.ac.jp/>

※本スクールホームページでカリキュラムおよびシラバス等を紹介しています。

令和3年度（令和3年5月入学）  
あきたサスティナビリティスクール

受講申込票

		受付番号	※
ふりがな 氏名	_____	性別	男・女
	[外国人留学生のみ、下段に漢字又はローマ字で記入してください。] _____ (Family name、First name、Middle name)	生年月日	年 月 日
最終学歴	年 月卒業・修了 年次在学中		
勤務先	_____ [会社名及び所属部課等] (〒 - ) (電話番号 - - )		
現住所	(〒 - ) (電話番号 - - ) [ E-mail : ]		
受信場所	(〒 - ) (電話番号 - - )		

[記入上の注意]

- ※印欄は記入しないでください。
- 記入はボールペンを用い、楷書で記入してください。
- 募集要項を熟読の上、記入漏れのないようにしてください。
- 「受信場所」は本学からの郵便物等を受け取る住所、平日に連絡がとれる電話番号を記入し、変更した場合は速やかに届け出てください。
- メールアドレスはパソコンからの添付資料等が送受信可能なものをご記入ください。
- 受講申込票は、スクールホームページからダウンロードできます。

# 履 歴 書

ふりがな 氏 名	
性 別	男 ・ 女
生年月日	年 月 日

写真貼付欄

(縦 4.5cm  
× 横 3.5cm)

申し込み前3カ月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真を貼付してください。

	区 分	在学・在職期間	
学 歴	高 等 学 校	年 月 入学 年 月 卒業	
職 歴		年 月 年 月	
		年 月 年 月	
		年 月 年 月	
		年 月 年 月	
		年 月 年 月	
資 格		年 月	
		年 月	
		年 月	
賞 罰		年 月	
		年 月	

**[記入上の注意]**

1. 記入は、ボールペンを用い、楷書で記入してください。
2. 職歴については、空白期間のないように記入してください。記入欄が不足の場合、別紙に記入し、添付してください。
3. 履歴書は、スクールホームページからダウンロードできます。





